

SHAREHOLDERS INFORMATION / SHAREHOLDERS MEMO

株式状況	(2017年9月30日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	14,469名

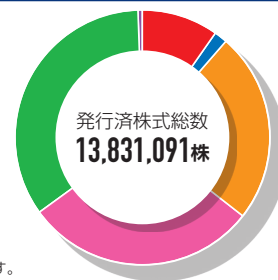
大株主(上位10名)	(2017年9月30日現在)
株主名	所有株式数(株) 持株比率(%)
平澤 創	4,770,038 34.65
RMB JAPAN OPPORTUNITIES FUND, LP.	1,518,310 11.03
BNYM TREATY DTT 10	622,670 4.52
株式会社第一興商	367,363 2.66
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	358,832 2.60
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	247,900 1.80
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	223,300 1.62
吉本興業株式会社	206,870 1.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	171,800 1.24
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	162,200 1.17

※持株比率は自己株式を控除して計算しています。
 ※持株比率は表示単位未満の端数は切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%)

(2017年9月30日現在)

構成比	
9.75	金融機関
1.72	証券会社
24.19	外国法人等
29.36	その他法人
34.49	個人・その他
0.49	自己名義株式



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
電子公告	電子公告 http://www.faith.co.jp/ir/koukoku/ ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告方法	
お知らせ	<ol style="list-style-type: none"> 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)
免責事項	本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



ウェブサイトのご案内

フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。

<http://www.faith.co.jp/>



facebook フェイス公式ページのご案内

フェイス・グループのニュースリリース、最新コンテンツ情報などを随時更新しています。

<http://www.facebook.com/faith.jp/>



株式会社フェイス

〒604-8171
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町
 566-1 井門明治安田生命ビル
<http://www.faith.co.jp/>

お問い合わせ先

TEL. 075-213-3933
 FAX. 075-213-3833

Faith

Semi Annual Report

2017.4.1 - 2017.9.30

株式会社フェイス | 第26期上半期 営業のご報告



特別対談

エンターテインメント新展開の実現へ。 イノベーションの実行に向け、 新生フェイス・グループ始動。

2017年8月1日、日本コロムビア株式会社を完全子会社化し、創業25周年という記念すべき年に、新たな船出を果たした新生フェイス・グループ。グループ代表の平澤、そして、フェイス副社長 最高執行責任者に就任した吉田。ふたりの対談を通じ、今の想い、これからのフェイス・グループが実現すべきイノベーションについて語る。

音楽を愛する同士だからこそ 楽しみな場面が増える融合。

吉田 フェイスは、ITベンチャー的な捉え方をされる向きもありますが、ずっと「音」にこだわってきた、音楽に対する愛情を持っている会社です。音楽を愛している人たちが集まり、音楽を愛している人たちに届ける、そうした根本的な文化は日本コロムビアと非常に近く、新しくフェイスの株主になっていただいた皆様にも楽しみにしていただける場面が増えると思います。

平澤 かつて路面電車も含め、電車によるローカル交通網が日本全国に広がっていましたが、今では大きく様変わりしています。その背景にあるのは、自動車やバスという交通手段の台頭です。運ぶのは「人」であり、そこは変わりません。もちろん鉄道自体がなくなったわけではありませんが、確実にシフトは起きています。この100年間を眺めると、レコード産業は大変大きな産業でした。中でも日本コロムビアは、日本初のレコード会社であり、全国流通網の先駆者として、レコード・CDを通

25!

Anniversary



代表取締役社長

平澤 創



取締役副社長

吉田 真市

じて音楽を届ける役割を担ってきました。けれど、交通網のシフトと同様、音楽を届ける仕事は変わらずとも、その届け方はすでに変化し始めています。時代が変遷する中で、フェイスは創業から25年間、新たな時代にふさわしい音楽の届け方を模索し、進化させることに取り組んできた会社です。日本コロムビアの株主様も音楽を届けることを応援してくださっていると感じていたことから、引き続きご支援いただきたいとの想いで、株式交換による完全子会社化という選択をさせていただきました。

吉田 日本コロムビアの上場企業として最後の株主総会で、平澤社長が「株式を買い取るのは簡単だが、今まで日本コロムビアを支えてくださった株主様とお金で縁が切れるより、引き続きご縁を大事にしたい」という話をされて、会場全体に共感が広がったと感じました。

平澤 株式公開している以上、株主の皆様が応援してくださっていることに対する責任の重さを感じています。日本コロムビアには、本当に長きに渡り株式を保有して下さっていた株主様がたくさんいらっしゃった。それを経済合理性だけで、株式を買い取って終わりというのはやはり違う、引き続き応援いただきたい、それが最重要かつ最良の選択だと考えました。

創り、守る役割と届ける役割、 その両輪を一体化させることで イノベーションを加速させる。

平澤 今のフェイス・グループの最も重要なミッション、それはアーティストからユーザー、聴き手にダイレクトに音楽を届ける仕組みを創ること、そのイノベーションを起こすことです。社会的な視点から言えば、著作物を守り続け、後世に届け、受け継ぎ、人類の文明・文化の発展に貢献すること、これが非常に重要な役割になります。フェイスは、「運び方」にイノベーションを起こし続け、日本コロムビアは、創業107年の間に、非常に多くの音楽、著作物・著作権を管理し、守ってきました。この両方をこれからも継続させるだけでなく、各々ではなく一体で動き、さらに進化させていく、それが新生フェイス・グループの社会的使命です。

吉田 日本コロムビアが有する膨大なアーカイブ資産、それから数多くの世界初・日本初を手がけてきた企業DNAを、フェイス・グループの一員として一体となった動きを加速させることで、より大きな相乗効果が生まれます。

平澤 今は100年に1度のチャンスです。方式そのもの、考え方そのもの、思想そのものが大きく変化している時代に突入し

TOP MESSAGE

ています。根本的に届け方を見直す、そのイノベーションを起こすには、もう各々の取り組みではなく、グループ体での動きが必要です。

吉田 事業戦略もリソースも一元化し、ここを突破していかないと、5年後、10年、次なる25年、さらに100年を目指していくことはできません。

平澤 すでに、ダウンロードやストリーミング配信のメインストリームは確立されているのではないかとされますが、僕らから見たら従来の小売店の置き換えであって、それはイノベーションではない。これまでレコード会社は、レコードやCDといったハードを通じて音楽を届けながら、知財を守

さらに大きなビジョン、次なる未来創造へ。 日本文化の世界発信に向け、また新たな一歩を。

る仕事もしてきました。これからは「レコード」という言葉が持つ意味合いが、「記録する」という方に軸足が移ります。音楽を記録し、文化として守り、後世に繋いでいく、それがレコード会社の機能であり、役割へとシフトします。アーティストからユーザーにダイレクトに音楽を届けるプロセスを考えた際、フェイスだけではできなかったこと、コロムビアだけではできなかったことが、グループとして一体で動くことで実行できることが非常に多くなります。例えば、アーティストが作詞作曲した楽曲の登録・管理・マネタイズは日本コロムビアに知見があります。ライブをしたい、CDも作りたい、これもコロムビアでできます。インターネットを通じた新たなディストリビューションの方法でユーザーとダイレクトに繋がりたい、これはフェイスができません。そうして、より緊密に仕組みを構築していくことができる、これが完全子会社化の最大の狙いです。

よりダイナミックに動ける立場に期待。
イノベーターのポジションを確固たるものに。

吉田 音楽を創り、守っていく役割と届ける役割、その両輪を通じて、結果的にユーザーのライフスタイルにも変化をもたらしていく。かつて家の中で聞くものだった音楽は、外に持ち出せるようになり、私たちのライフスタイルは大きく変わりました。今ではスマートフォンなどでいつでも何でも聴けます。そうした楽しみ方の変化を新たに提案していくという発想でイノベーションを起こしていきたいですね。

役割分担の明確化と適材適所を通じて実行の仕上げを敢行。そして、次なるビジョンを描くフェーズへ。

吉田 そのために、真っ先にやらないといけないことは、グループ全体の中における大きな意味での役割分担の明確化、組織・人単位での適材適所を改めて実施することです。グループ全体として事業を俯瞰し、グループ内に分散している力をいかに機能的にまとめ上げ、内在する力をいかに



強化していくかが重要だと思っています。**平澤** 会社の雰囲気もどんどん変えていきましょう。今、まさに着手し始めましたが、時代に応じて継続していく、そして常に、変化していくという空気感を持つことが物凄く重要です。

吉田 それから、これまで会社を支えてきたコンテンツ配信事業に代わる、新しい事業の柱となる予備軍が、海外も含め相当に立ち上がってきています。これらを独り立ちさせ、5年後、10年後のフェイス・グループを支える事業にすること、これが短期的にやらなくてはならないことだと思っています。依然、着メロを始めとするコンテンツ配信は利益貢献しているし、現時点では日本コロムビアも貢献してくれてい

ます。その間に予備軍をしっかり軌道に乗せ、柱として自立する事業を2本、3本しっかり立てる、そしてさらなる予備軍をどんどん生み出す、そうした取り組みが非常に重要になると思っています。

平澤 2020年に東京オリンピックが開催されますが、世界を見ると本当に日本はまだまだしなければならぬこと、それはエンターテインメントという分野だけとっても山積みであり、これからもっともっと新しいことに取り掛からなくてはなりません。音楽の届け方においてイノベーションを起こさないといけないというのは、もう誰もが認めることであり、いかに実行してい

くかの時期に入りました。吉田は、見えてきた道筋をしっかりやり遂げ、拡大させることが上手なので、実行の仕上げは任せつつ、僕自身はまたさらに、まったく違う角度で、世界発信に向け、また次なる未来ビジョンを描き始めたいと考えています。

吉田 想いは企業理念「あるものを追うな。ないものを創れ。」に集約されますが、そこを原点に、今後も新しい試みをどんどん実行し、取引先、株主の方々含め、フェイス・グループに関わってくださる皆様にワクワクしてもらえ、展開を志向していきます。将来に渡り、もっともっと元気で、業界の中でイノベーターとしてのポジショ

ンを確固たるものにしていきたい。ぜひご期待いただきたいし、僕らはその期待に応えられるようしっかり結果を残していきたいと思っています。

平澤 新たにフェイスの株主になられた皆様もこれまでとは少し違った新しい視点で、引き続きフェイス・グループをご支援いただきたく、株主総会でお会いできるのであれば、お会いしてご意見もいただきたいと思っています。新生フェイス・グループが描く未来にご期待いただくとともに、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。

現在、音楽を取り巻く私たちの事業環境は劇的に変化しています。

今まで100年間、レコードやCDを販売してきた音楽産業は、今やネット環境へと、目まぐるしく変遷する過渡期に突入しています。

そうした時代に、もっとFaithを世界の人々に知っていただくために

私たちはワクワク感をもって新しい事業創造を日々続けています。

引き続き「未来」に向かって、世界があっと驚くサービスを創造し、

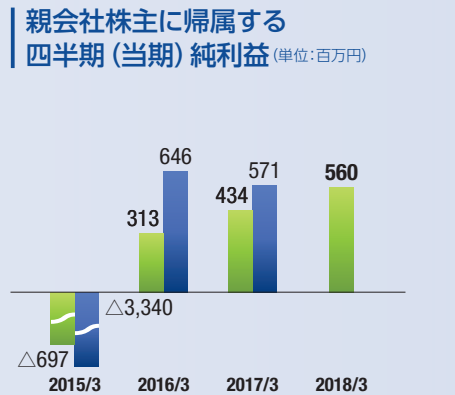
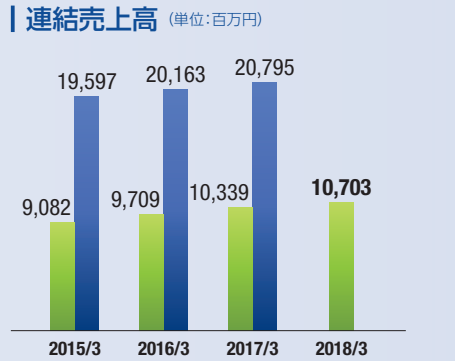
これからも私たちが感謝を伝える人たちを世界中に増やすこと。

それがFaithグループの使命です。

もっとFaith もっとFuture もっとありがとう

「株式会社フェイス25周年特設サイト」を開設いたしました。
<http://www.faitn.co.jp/25th/>

連結財務ハイライト



ホームページをリニューアル! 併せて「25周年特設サイト」を開設

創業25周年を記念してホームページをリニューアルしました。フェイス・グループをより一層ご理解いただければ幸いです。併せて、「株式会社フェイス25周年特設サイト」を開設。加山雄三さんや別所哲也さんとグループ代表平澤 創とのスペシャル対談、当社25年の沿革を掲載しております。スペシャル対談コンテンツは、漸次追加してまいりますのでご期待ください。今後もステークホルダーの皆様に充実した情報をお届けしてまいります。



“Dreamusic=ドリームのある音楽会社”へ フェイス・グループとして、より一層のシナジー連携を

2017年10月1日付で、ドリーミュージック新社長に三浦剛史が就任いたしました。三浦社長が一貫して携わってきたアーティストマネジメントの実績と経験を基に、従来のレコードビジネスの枠にとられない、時流に合った音楽ビジネスモデルの構築、改革を推進してまいります。また、フェイス・グループが行うアーティスト向けプラットフォーム事業や、同グループの日本コロムビアとのより一層の連携を進めてまいります。



NEW RELEASE 新作紹介

イエモンが25周年記念アルバムをリリース!

15年ぶりの集結を果たしたTHE YELLOW MONKEY。デビュー25周年を記念し、ファン投票で選曲されたアルバム『イエモン-FAN'S BEST SELECTION-』のアンサーアルバムとして、全てを新たにレコーディング。リリース日は、メジャーデビュー記念日。



THE YELLOW MONKEY
[THE YELLOW MONKEY IS HERE. NEW BEST]
2017年5月21日発売/2,500円+税

氷川きよしが初のアニソンに挑戦!

フジテレビ『ドラゴンボール超』オープニング曲として、氷川きよし初のテレビアニメ主題歌が満を持して発売。オリジナルカラオケ、5パターンのインスト音源などもあわせて収録し、初回生産限定特典として、ドラゴンボールヒーローアバターカード(氷川きよし仕様)を封入。



ドラゴンボール超×氷川きよし「限界突破×サバイバー」
2017年10月25日発売/1,204円+税

韓国出身の人気グループ待望のシングル!

2012年5月にメジャーデビューした韓国出身ダンスボーカルグループ。年間50本以上、47都道府県全てでライブを行うなど地道な活動を続け、2013年12月には日本武道館でのワンマンライブを成功させた。各メンバーが幅広く活動を行う中、1年ぶりにニューシングルをリリース。



CODE-V [Winter Love]
2017年10月25日発売
【初回生産限定盤(CD+DVD)】1,574円+税 【通常盤】1,000円+税

「すみっコぐらし」がNintendo Switchに登場!

大人気キャラクター「すみっコぐらし」のゲーム最新作。大人から子供まで最大4人で楽しめる、すごろく&ミニゲーム形式のパーティゲーム。世界観の異なる4つのエリアで“すみっコイン”を集めて、ご家族やお友達が集まる場所で、いつでもどこでも気軽に遊ぼう。



Nintendo Switch用ソフト「すみっコぐらし すみっコパークへようこそ」
2017年12月7日発売/5,800円+税

会社概要

株式会社フェイス

事業内容 コンテンツ配信プラットフォームの開発
およびビジネスモデルの構築

設立 1992年10月9日

資本金 32億1,800万円

上場取引所 東証1部(証券コード4295)

従業員数 109名(連結390名) ※2017年3月31日現在

取締役および監査役

代表取締役社長 平澤 創

取締役副社長 吉田 真市

専務取締役 中西 正人

取締役 矢崎 一臣

取締役 佐伯 次郎

社外取締役 樋口 泰行

社外取締役 別所 哲也

常勤監査役 土屋 文男

社外監査役 清水 章

社外監査役 菅谷 貴子

アドバイザー・ボードを構成する社外有識者

島田 精一 元日本ユニシス株式会社 代表取締役社長/スルガ銀行株式会社 社外監査役
あすかアセットマネジメント株式会社 社外取締役/株式会社お金のデザイン 社外監査役
株式会社 アド ビジネス コンサルタント 最高顧問/ぶらっとホーム株式会社 特別顧問
株式会社HS情報システムズ 顧問/内閣官房 産業遺産に関する有識者会議 委員
公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団 評議員/学校法人津田塾大学 理事長
国立大学法人千葉大学 経営協議会委員・学長選考会議委員
学校法人根津育英会武蔵学園 評議員/武蔵学園後援会 会長
一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト 理事長
対外経済貿易大学 客員教授/公益財団法人日伊協会 会長
フィンランドセンター 理事/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 評議員
東京二期会 理事/日本ヴェルディ協会 理事

野中 隆史 元みずほ信託銀行株式会社 取締役会長/みずほ信託銀行株式会社 常任顧問

堀 裕 堀総合法律事務所 代表弁護士/日本ローエイシア友好協会 常務理事
内閣府 公益認定等委員会 委員/みずほグループ各社 顧問弁護士
在日ロイヤル・ダッチ・シェルグループ各社 監査役
国立大学法人千葉大学 理事・副学長、経営協議会 委員
サハリンLNGサービス株式会社 監査役
公益財団法人国連大学協力会 監事
公益財団法人沢沢栄一記念財団 理事

村瀬 清司 元社会保険庁 長官/企業年金連合会 理事長

フェイス・グループ

コンテンツをユーザーに届けるためのあらゆる機能を有し、ワンストップサービスとしてプラットフォーム化できる企業グループです。

株式会社フェイス

コンテンツ配信プラットフォームの開発
およびビジネスモデルの構築

グッディポイント株式会社

新たなポイントサービスの創造

株式会社オーケーライフ

日本最大級の音楽ソーシャルメディア
「OKMusic」企画・運営等

ジャパンミュージックネットワーク株式会社

音楽情報サイトBARKS運営、Webプロモーション事業、
国内および海外イベントの企画・制作

株式会社フライングペンギンズ

アーティストのマネジメント業務

株式会社エンターメディア

キャリア公式ファンサイトの構築・運用、
ファンクラブの運営、indiesmusic.comの運営



日本コロムビア株式会社

日本最初のレコード会社
ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理

株式会社ドリーミュージック

ミュージックソフト等の制作、宣伝、出版管理

株式会社フューチャーレコーズ

アーティストに関する著作物の
企画制作・管理

株式会社フェイス・ワンダワークス

日本最大の着信メロディサイト運営、映像制作、
プロデュース/音楽・動画等の配信

株式会社ライツスケール

日本最初のiTunes公認アグリゲーター
音楽配信ソリューションを提供

株式会社TOY-BOX

広告代理業およびそれに伴う
プランニング・クリエイティブの立案